



すこやか会議 『スマートフォン等』と『健康』を考える……」12月3日(火)

毎年開催されている学校保健委員会(すこやか会議)が、6年生や教職員、PTAの方々他の出席を得て開催されました。

昨年度の「視力低下」から引き続き、今年度は「身のまわりの安全を考えよう～インターネットや携帯電話・スマートフォンの落とし穴～」をテーマに、児童保健委員会による6年生全員に実施したアンケート調査と分析の発表や松田警察署スクールサポーターによる講話、児童指導担当教諭の話、グループ協議、感想発表などで意識を高め健康の保持増進を図りました。

WHO(世界保健機関)でも認定された「ゲーム障害」から私たちの身近で起こってしまっているSNSでのトラブルや被害など、参加者全員で幅広く考えを深めました。

携帯電話やスマートフォンの契約や所有は家庭の管理であり利用の指導は保護者の役割です。「『使い方』と『使いみち』の指導」という言葉もありましたが、健康面でも安全面でも「安心できて安全ではない機器」であることを自覚し、正しく効果的な利用・活用を目指してください。

保健委員会の発表にあった「今、大切なのはゲームなどでのコミュニケーションではなく、外遊びやスポーツ、旅行など、実際に友達や家族と面と向かって話すことです。」という提案が、清々しく耳の奥に残りました。



スマートフォン・ネットゲームの長時間接触による問題点と危険可能性

- ①生活リズムの乱れ
- ②学力の低下
- ③外遊びの減少による筋力の低下
- ④視力低下
- ⑤自己コントロール能力の低下
- ⑥言葉の力、コミュニケーション能力の低下
- ⑦ネット依存、ゲーム障害
- ⑧体調不良
- ⑨いじめなどの人間関係トラブル



「子どもが危ない! スマホ社会の落とし穴」(少年社会新聞社)より

「ゲーム障害」依存の影響は?

- ・趣味や友達に会うなど、大切な活動への興味が著しく下がる。
- ・ゲームによって学業や仕事に悪影響が出ても続けてしまう。
- ・ゲームのために腰痛や目の痛みなど身体の問題が起きててもやめられない。
- ・睡眠障害や不安などの心の問題が起きててもゲームを続ける。



協力することが得意です! 世界人権デー朝会

12月10日(火)



体育館入場時の、音楽委員会のリードによる、さわやかな「君をのせて」の斉唱に引き続き、「今日は少し難しい話かもしれませんが、でも、話の後で噛みしめると、なんとなくわかってくるとと思います。」という司会の言葉でこの日の朝会は始まりました。

1950年以來、毎年「12月10日」は「世界人権デー」であり、この日やその前後の日において、日本でも各地で様々な取り組みや催しが行われています。今年の開成南小学校は、人権デー当日の朝会で、全校で人権についての思いを巡らせ考えました。

「りんごがたべたいねずみくん」の絵本の紹介を中心に、「好きなもの」「得意なもの」は、人それぞれ違いうし、それらを自覚できない場合もあるけれど、「協力する」ことは、誰にでもできるし得意なものに成り得る。」ことを、伝えてくれたようにも思います。

学校では多くの人々が生活しています。互いにわかり合い重なる部分が増えて、より協力し合えるといいですね。





「園芸委員会」の活動 と 「足柄上商工会青年部」の植樹

11月27日(水)
12月3日(火) ほか

12月3日(火)の児童集会では、園芸委員会から活動目標や日頃の活動の様子等について、紹介がありました。

毎朝、児童たちが登校時に目にする校舎東側をはじめ、校地内の花壇や樹木近辺の草むしり等の手入れや管理、校舎内の観葉植物の育成等の活動について発表がありました。

また、冬が旬である花の紹介や花言葉などをクイズ形式にして出題するなど、専門的な知識や技術、自然や花を愛する委員たちの心がよくうかがえる児童集会となりました。

.....

毎年、足柄上商工会青年部さんの好意により、校舎東側花壇に季節の草花を植え込んでいただき、楽しませていただいておりますが、今年度は特別に、

- ① 枝垂桜八重咲
- ② OLIVE
- ③ 四季橘



の三種の樹木の植樹を賜りました(もちろん花壇の整備から作業をしていただきました)。

まだ小さく細い樹木ですが、これからの開成南小の歴史や児童たちの成長とともに大きく育っていくことと存じます。コンセプトは「子どもたちが花を見ることを通じて『笑顔や活力』『つながりと感謝』などが育むことを期待している」とのことです。

園芸委員会を中心に、大切にしていきます!



☆ 園芸委員会クイズ ☆

Q1 「チューリップ」の花言葉は?

- ① 思いやり ② 大切 ③ 大好き

Q2 「冬」が旬の花はどれでしょう?

- ① 椿(ツバキ) ② ノースポール
- ③ クリスマスローズ

現在、園芸委員会では、3/19 予定の卒業式に向け、保健室前にてパンジーの鉢植えを育成中です。美しく花を咲かせ、6年生の卒業を彩ります。乞うご期待!!

☆ 植樹木メモ ☆

「枝垂桜八重咲(しだれざくらやえざき)」

・木はそれほど大きくはなりません、花形が八重で濃く紅色の花が咲きます。開花目安は4月中旬ごろだそうです。

「OLIVE(オリーブ)」

・ちょっと古い方には、「ボパイの恋人」「首飾り」などでおなじみなのかもしれませんが、果実は御存知のように食用油の原料です。「太陽の樹」とも呼ばれるようです。

「四季橘(しききつ)」

・低木であり実も大きくはなりません、四季を通じて緑色や橙色の果実を付けます。

☎ 0465-83-2331 ☎ 1F 足柄上商工会青年部

季節のたより

12月2日(日)に開成町では、町内駅伝競走大会が開催されましたが、正月明けは全日本実業団対抗駅伝競走(ニューイヤー駅伝)、東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)など、駅伝競技が目白押しです。先導の警察白バイや沿道の陸上競技協会の走路員の方々は、安全確保の重要な役割を担う、有り難いスタッフです。

御存知のように、「駅伝競走」は、主に公道にコースを設定する日本発祥の競技であり、国際陸上競技連盟の基準ではマラソンと同じ42.195kmを「5km」「7.195km」「10km」の6区間に区切り行われます。国際的にも「Ekiden」で通じたり、「Road relay」「Marathon relay」と呼ばれたりしますが、独自のルールや区間による選手戦略、普及開催状況等を鑑みると、日本で抜群の人気を誇る競技と言ってもよいと思います。気温等の環境や高低差・平坦地など景観や勝負どころの局面、チームプレーや監督コーチの指示など、日本の文化にマッチし多くの人々に受け入れられる要素も数多く持っています。優勝が決まった後も、Jリーグや大学野球の入れ替え戦的な、翌年のシード権争いで手に汗握るドキドキ感にも、必然的に興味関心は高まります。

箱根駅伝は公道(しかも観光地)での安全面を鑑み、事前の試走は禁止だそうです。今年は「あおり運転」や「高齢者ドライバーの事故」等も話題となりました。年末・年始は、特に交通安全に誰もが十分に留意し、外出時にも穏やかに過ごせる休業期間としたいですね。(担当)

